

2022年度リサーチ・コンソーシアム記念事業 ポスターセッション

発表タイトル	豊中市における EBPM の推進に関する調査研究
<p>要旨等：</p> <p>近年、自治体行政におけるデータ(エビデンス・証拠)に基づく政策立案(EBPM: Evidence Based Policy Making。以下「EBPM」という。)の重要性が指摘されている。国や都道府県、大都市を中心に EBPM の実践例や知見の蓄積がみられるものの、多くの中小規模の基礎自治体において EBPM の実践は、人材・予算・データの制約等により、十分進んでいるとは言い難い。</p> <p>本報告では、大阪府北部に位置する中核市・豊中市における EBPM 推進に関する人材育成やデータ分析の取り組みに着目し、主に、アクション・リサーチの手法を参考に 2020 年度に自治体シンクタンクであるとよなか都市創造研究所が主催した人材育成研修:「EBPM 実践講座」から得た知見に基づいた考察から、基礎自治体における EBPM 推進上の課題を明らかにするとともに、その解決方策について提言した。</p> <p>PR内容：</p> <p>総務省統計局 Data StaRt(地方公共団体のためのデータ利活用支援サイト)令和 3 年度統計データ利活用事例集 https://www.stat.go.jp/dstart/case/download.html に本研究内容が取り上げられました。</p> <p>担当:とよなか都市創造研究所 主任研究員 石村 知子</p>	